



(つづき)

授賞パーティでは、お目付け役の天先生がいないので、それをよいことに僕が「宿にはめしがないぞ」と焚きつけたものだから、3人と喰うは喰うはで「オキョウギ」の悪いこと。それに土門先生を困らせたおぼつとあどけて写真を撮ったり、こんな時僕はちよつともブレモがきかないので「すみません」。二次会は例の現代写真研究所の教室で、ここもうまく扱け出せず、伊藤先生の世話になって三次会へ。

「新米の女優さんの初めての撮影。こんな時の役はたいい女中役だね。長廊下をツツツツとやってきて「姫様に申し上げます」とセリフを言う。その時なれないカツラが唐紙にぶつつかって傾く。監督大声で「カット!!」そのとたん裏方さんが「何事じゃ」京都の撮影所にはこういう思いやりがある。僕東京にいるけど京都はいいね」

こう話してくれた俳優さん、確か玉川伊佐男という人だと思いが名前が確かでない。テレビの水戸黄門に出ていると言っていたから一度確かめてみようと思っているが、今のところその番組に出会わない。その時大学生がやってきてサインを求めていたから、かなり名前は売れているのだろう。東映所屋で斬水斬水とか斬り捨てるのセリフが必ず出てくる敵役専門。このところ8回も斬り殺されていると言っていた。

勿論本人は伊藤先生の友達だけあって、なかなかしっかりした人と見受けられました。

三次会はこの人と、詩人の上村大助氏、それに伊藤知巳先生と三重支部の3人。なんでこんなところに三重支部の3人がいるのだろう。楽しい話がもっと聞けそうだったが、なにしろ時間がない。お固い所に泊ったので門限12時を延ばすことができずハイパーを飛ばして12時ぎりぎり宿に着く。以上。

“原点” 中西篤行

才4回視点展を見た。奨励賞9点。大賞なし。どの作品も、人間が生きるということ、そしてその中で自分が写真を撮って行くということを、あおいに考えさせられるものばかりだった。それと同時に「視点展もひとつの山にさしかかっているな」という直感もあった。けれど、その山を越すと、眼前に雄大な眺めが開ける。という予感もチラとした。

今年の春もまだ浅い頃、半年も前のことである。一同が集った席上、伊藤知巳先生が、いつになく長い熱弁をふるわれた。(三重支部は東洋介大先生の恩恵で、毎年伊藤先生のお話を聞くことができるのである。(東洋介先生とはひとつの愛称である。編集人))

70年代としては最後の集い——と考えると、それは80年代にむけての、我々の姿勢にたいしての強烈な示唆を含んでいたのではなかったか。

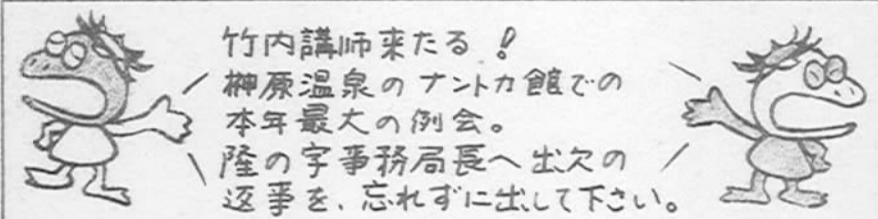
僕は第4回展を見て、再び伊藤先生のお話のことを思いかえしていた。その先生のお話の中で、僕の印象が一番残っているのは「原点」ということであつた。伊藤先生は、何度も「原点」に帰れ、ということを書いておられたように記憶している。或は世阿弥元清の「初心」という言葉があったかも知れない。とにかくそのことが僕の脳裏に半年間棲みついていたのだ。

「原点」といえば、土門先生も1967年「フォトアート」11月号「風見鶏」の欄で、この題名のエッセイを書いておられる。それは「写真作法」の最後の論稿として復刻されているので僕もよく覚えていた。

おれねてる。もう少しねてる。

この67年という年はJRP創立まる3年を迎え、奇しくも、伊藤知巳先生が、小西久弥氏から、事務局長のバトンタッチを受けた年でもある。その第4回総会基調報告のなかで、JRPとしては恐らく初めての、第1期リアリズム運動の組織面での正式の総括が行われているのである。(写真リアリズムNo.15, 1967年)参照

此所デコノ文章ハフロント切レテイル。ソレハ途中デ、彼、原福ヲ編集人が強奪シテキカラテアル。モシ出来上ガルヲ待テイレバ、イツマテ待タレバカワクナイシ。マア、永クニ出来上カラテ可能性モアルカラテアル。驚キヤ、イヤ驚キド。イガ、コノ話キヲ早ヨウ書ア。



【でんわでもしもしアンケート】

電話料のあまりかからない皆さんに尋ねてみました。敬称略。

氏名	フィルム	現像薬	現像機	ASA		
宮間	HP-4	D76(R)	1:1.5	20°	13'30" (400)	WP
	HP-5	F07170-IL	1:1.5	20°	13'00" (400)	パピール (C)
中西	HP-5	D76(R)	1:1.5	23°	12'00" (400)	パピール
東	HP-5	D76(R)	1:1	20°	14'00" (400)	パピール (C)
新美	HP-5	D76(K)	1:1.5	23°	13'00" (400)	セシウム
中西	トライX	D76(K)	1:1.5	23°	10'00" (400)	パピール F2
清水	HP-4	D76(R)	1:1.5	23°	11'00" (400)	パピール 3
柳生	初ハ 400	D76(K)	1:1	20°	14'00" (400)	WP
中川	初ハ 555	D76(K)	1:1.5	23°	15'00" (400)	WP
絵門	初ハ 400	D76(R)	1:1.5	23°	11'40" (400)	F
					13'50" (800)	
服部	初ハ 400	D76(K)	1:1.5	24°	17'00" (800)	F
若竹	HP-5	D76(K)	1:1	23°	11'00" (400)	パピール

(備考) 一樹さん 政ちゃんのおたりはデコがこの表より僅かに下回る場合がある由。
パピールはパピール(C)に比べてやっぱり黒か出ないという意見多し。
それにしても意外に皆さんそれぞれなのには全く驚きましたなあ。

